

「ヘイトスピーチ」に関心を持たれている方、多文化共生に興味のある方など

多文化共生とマイノリティ

グローバル化に伴って外国や外国人の存在が身近に感じられる事が増えてきています。しかし同時に日本を含めた世界では、ヘイトスピーチなどその社会の民族的少数派(マイノリティ)の排除を図る動きがみられます。誰が「マイノリティ」なのか、民族間の共存方法はないのか、について考えます。

玉井 雅 隆 教授

- 出張講義分野
国際関係論、紛争予防論、多文化共生論
- 研究分野のキーワード
多文化共生、マイノリティ、紛争予防
- 専門分野
国際関係論、多文化共生論



大学ではこんなことを研究しています

1990年以降、欧州では民族紛争の再燃が懸念されました。実際にボスニアでは凄惨な民族紛争が発生しています。しかし旧ユーゴスラヴィア以外では民族紛争の勃発を防ぐことに成功しました。その一つの要因として、欧州安全保障協力機構に設置された少数民族高等弁務官の役割に着目し、研究を行っています。

先生からメッセージ

大学教育で常に心掛けていることは、学生諸君が「疑問を持つ」ということです。特に国際関係を研究する際には、片方の視点からだけ見るのではなく、双方の視点から考えてみるのが大切です。一方の側の主張に正義があれば、反対側の主張にも正義があります。「正義の反対は正義」であって、自分がよって立つ見解が果たして正しいのか、という価値相対化から、新たな視点を身に着ける学生を育成することを行っています。

略歴 立命館大学大学院国際関係研究科博士課程後期課程修了。博士(国際関係学)。
2007年欧州安全舗装協力機構ブラハ事務所に現地調査員、2009年以降立命館大学、関西学院大学、横浜市立大学等非常勤講師を経て、2018年4月より東北公益文科大学准教授。2022年4月より現職。